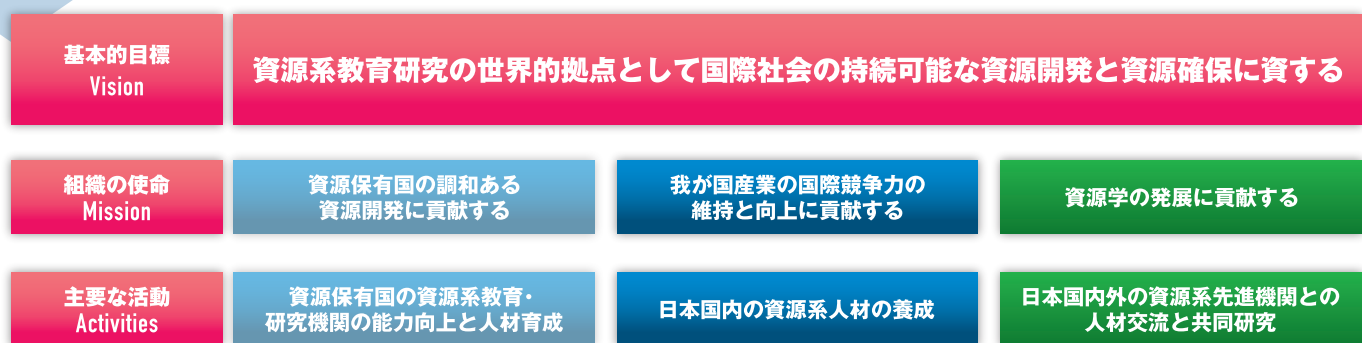


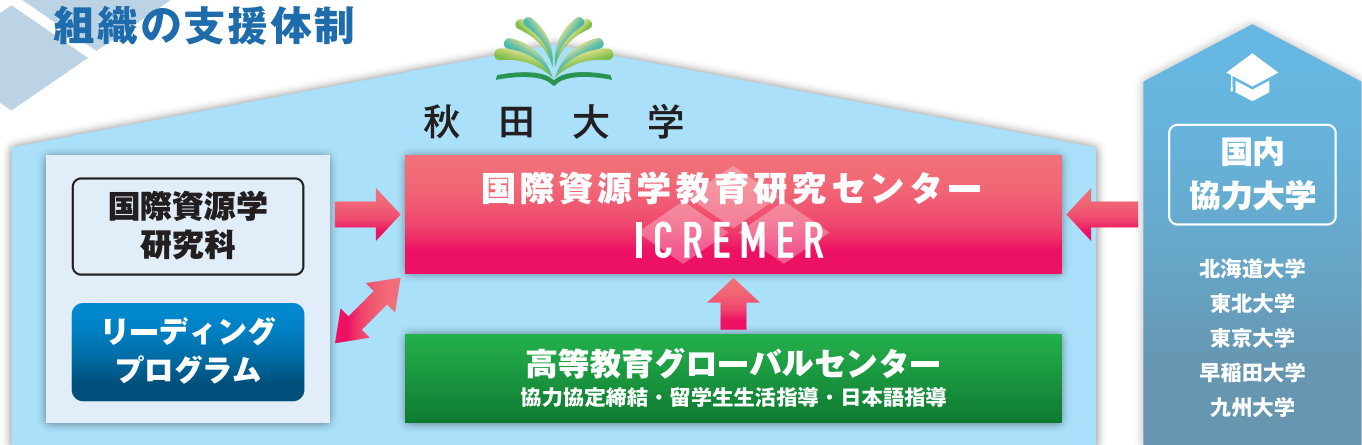
国際資源学教育研究センターの設立の背景



戦略



組織の支援体制



国際資源学教育研究センターの理念

- 1 資源保有国の資源系大学や研究機関を対象に教育・研究能力強化のためのプログラム策定や人材育成を支援します。
- 2 資源保有国や国内関連企業などから大学院生や技術者・研究者を受け入れ、キャンパスでの理論的学習および研究、秋田県を中心に資源関連現場での実習を通じて、実践に重きを置いた大学院レベルの教育を行います。
- 3 国際的に通用する資源学教育・研究を目指し、英語による指導を基本とします。
- 4 秋田大学国際資源学部および国際資源学研究科(博士課程教育リーディングプログラムを含む)と一体となり充実した資源学教育を行う他、日本国内外の大学や研究機関と共同した先端的かつ高度な資源学教育を推進します。
- 5 資源開発利用に関連した秋田県および近隣に基盤を有する民間企業などとの連携に基づき教育・研究活動を推進するとともに、国内資源の評価や開発にも貢献します。

アクセス

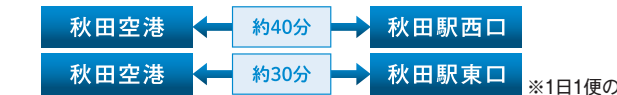
ACCESS

東京から

空路



●秋田空港秋田駅間リムジンバス



鉄道(秋田新幹線)



秋田駅から



新担当教員紹介

モハammadザデ ビナ サイド 助教

MOHAMMADZADEH BINA SAEID

My name is Saeid and I am originally from Iran. I graduated in energy engineering from Akita University. From late 2019, I have joined ICREMER as an Assistant Professor. I am researching about renewable energy systems modeling.



マナロ ハーリン カバルビアス 助教

MANALO PEARLYN CABARUBIAS

I am Pearlyn Manalo, an Assistant Professor of the Faculty of International Resource Sciences and ICREMER, Akita University. My research interests include deciphering how the different elements like gold, silver, copper, travel through the different parts of the Earth and how they form ore deposits.



秋田大学 国際資源学教育研究センター ICREMER

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 TEL:018-889-2810 FAX:018-889-3012
E-mail: sigen@jimu.akita-u.ac.jp URL: https://www.akita-u.ac.jp/icremer/



発行年月: 2021年2月



ICREMER

International Center for Research and Education on Mineral and Energy Resources, Akita University

国際資源学 教育研究センター



センター長 あいさつ

GREETINGS



国際資源学教育研究センター長
長縄 成実

国際資源学教育研究センターは、国際的視野をもつ高度資源開発人材の養成と我が国の資源セキュリティおよび安定供給体制の確立に貢献するとともに、国際資源人材ネットワークを通して一層の国際交流および国際貢献を図ることを目的に、秋田大学の全学組織として2009年10月に設立されました。偏在性の著しいレアメタルなどの鉱物資源に恵まれたボツワナ、モンゴル、カザフスタンの諸大学との学术交流や資源人材育成への貢献からスタートし、これまでに南アフリカや東南アジア諸国、オーストラリア、カナダ、ドイツ、スウェーデンなどの国々とも連携を深め、世界規模でその活動範囲を広げてきました。

2019年にはセンター設立から10年の節目を迎え、さらなる活動の強化と教育研究成果の積極的な社会への還元を図るために、石油・天然ガス、地熱といったエネルギー資源分野の教育研究の拡充、持続可能な社会の構築に向けた再生可能エネルギーや環境問題への分野展開、さらにはIoT・AI技術と資源学との融合によるイノベーションの創出にも新たに取り組んでいます。

国際資源学教育研究センターは、秋田鉱山専門学校から数えて100年以上にわたり国内の資源学分野を牽引してきた秋田大学の強みを活かし、資源学教育研究ナショナルセンター構想のもと2014年に設置された国際資源学部と一体となって、資源学分野の国内・国際共同研究拠点となるべく挑戦を続けていきます。

交流実績のある海外の大学 20か国24大学(2021年2月現在)



活動実績

ショートステイプログラム

2011年より
毎年実施

海外協定校の学生を対象とした、資源の持続可能な開発・利用に資する人材育成のための短期研修プログラムです。

◆対面式(～2019)



◆オンライン開催(2020)



参加実績 2019年度：18名(8か国) 2020年度：16名(7か国) [詳しくはこちら>>](#)

その他の活動実績

海外協定校との共同研究、海外協定校での特別講義、フィールド調査、学会・イベントの共催、国内学生教育への支援 など

教員紹介 (2021年2月現在)

専門・研究分野
掘削工学、石油工学、地熱工学

NAGAWA SHIGEMI
長縄 成実 教授

専門・研究分野
資源開発、災害情報学、世界遺産保存

KAWAMURA YOUHEI
川村 洋平 教授

専門・研究分野
資源精製工学、エネルギー資源学

BESSHO MASAHIKO
別所 昌彦 准教授

専門・研究分野
資源分離工学、リサイクル工学

HAGA KAZUTOSHI
芳賀 一寿 准教授

専門・研究分野
再生可能エネルギー、地熱エネルギー、地中熱エネルギー

MOHAMMADZADEH BINA SAEID
モハマドザデ ビナ サイド 助教

専門・研究分野
地球惑星科学、総合工学

MANALO PEARLYN CARARUBIAS
マナロ バーリン カバルビアス 助教

国際シンポジウム

2010年より
毎年実施

資源学分野の学术交流の促進、当センターの最新の取組や研究成果の紹介等を目的として、毎年開催しています。

◆対面式(～2019)



◆オンライン開催(2020)



参加実績 2019年度：約100名(8か国) 2020年度：約100名(12か国) [詳しくはこちら>>](#)



特別講義(モンゴル科学技術大学)



秋田大学およびショートステイプログラムの紹介(タイ・カセサート大学)



特別講義(東カザフスタン工科大学)